

公益財団法人世界緑茶協会 平成 24 年度事業報告

1 茶文化の提案及び普及（公益目的事業 1）

(1) 茶文化セミナー、講演会の開催

ア お茶の文化を普及するため、講演会等を開催した。

講座名等	時期	場所	実績
茶文化セミナー『世界に誇る「富士のお茶」』	平成 24 年 7 月 18 日	JA 富士市ホワイトパレス	120 人
世界茶文化学術研究会公開シンポジウム	平成 24 年 10 月 3 日	グランシップ	60 人
茶のブランド価値を伝えるパッケージデザインを考える	平成 24 年 10 月 19 日	静岡産業大学情報学部 ウイステリアホール	120 人
お茶市民セミナー in 藤枝	平成 25 年 1 月 12 日	静岡産業大学情報学部 ウイステリアホール	80 人
お茶の香りをデザインする	平成 25 年 2 月 21 日	静岡産業大学情報学部 ウイステリアホール	150 人
茶おもてなし英語基礎講座	平成 25 年 3 月 20 日	富士山静岡空港 会議室	8 人
		合計	538 人

イ お茶に関する知識を深めてもらうため、学校及び企業と連携した体験型セミナー等を行った。

名称	開催時期・場所	内容	出席者
「新茶と和スイーツ」	24 年 6 月 24 日 6 月 25 日 (エネリア静岡ショールーム)	実習 お茶の淹れ方 お茶を使ったスイーツ (静岡ガス(株)との共催)	19 人
茶学入門	24 年 11 月 14 日 (静岡県立大学)	講義 静岡茶の紹介 お茶の淹れ方	246 人
		合計	265 人

(2) 緑茶に関する情報誌「緑茶通信」の発行

緑茶に関する幅広い情報を発信するため、情報誌を発行した。

発行時期	主要テーマ	発行部数
平成24年9月	31号 日本と中国 ～茶のつながり～ 「日中茶文化交流時代の到来」「茶文化研究の観点から、日中「茶文化交流の意義を考える」「変転する中国茶産業」「中国における茶に関する教育の現状」 ○ 世界お茶事情(中国で見た日本茶～上海便り～) ○ 茶関連施設紹介(中国茶葉博物館) ○ 全国の茶産地から(大分県のお茶) ○ 【特別寄稿】世界が注目する茶草場の生物多様性ほか	1,200部
平成25年3月	32号 お茶の商品開発Ⅱ 「商品づくりに想いを込める モノが溢れる時代のパッケージの役割」「カラーマーケティング 商品開発における色彩戦略」「香りを活かした茶の商品開発～消費者の嗜好性に関する研究から～」 「お茶の残渣を用いた塗料の商品開発」 ○ 世界お茶事情(ケニアの茶事情) ○ 茶関連施設紹介(野村美術館) ○ 全国の茶産地から(京都府舞鶴市のお茶) ○ 【茶業研究最前線】(独)農研機構野菜茶業研究所～金谷茶業研究拠点～ほか	1,200部

(3) その他の茶文化普及等の事業

さまざまな機会を捉えてお茶のプロモーションや呈茶サービスを行い、日本茶の魅力や情報を発信した。

開催時期	イベント等の名称	出席者
24年5月19日・26日	静岡茶新茶PRイベント(静鉄ホテルプレジオ)	40人
24年6月12日	ふじのくに企業立地セミナー(東京 学士会館)	200人
	合計	240人

(4) 静岡茶の体験コーナー業務運営受託

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、しずおかO-CHAプラザ内の静岡茶体験コーナーの業務運営を静岡県から受託。日替わりで県内主要産地のお茶を使用し、来場者に日本茶インストラクターがおいしいお茶の淹れ方

の指導を実施した。

「新茶を楽しむミニ講座」、「夏休み親子緑茶教室」など時季に応じたテーマにそったミニ講座を実施し、一般県民に楽しいお茶の淹れ方などを体験指導した。

<運営概要>

施設規模	67 m ² 15 席
運営体制	開場時間 月曜～金曜 午前9時30分～午後4時30分 内 容 世界緑茶コンテストの入賞茶の展示や、茶関係書籍や産地情報の閲覧など、ミニ講座の実施とともに、お茶に関する情報発信を行った。

<利用者数>

月	人数	月	人数
4月	367人	10月	441人
5月	419人	11月	366人
6月	254人	12月	394人
7月	474人	1月	373人
8月	500人	2月	590人
9月	432人	3月	513人
		計	5,123人

20.9人/日

<ミニ講座開催実績>

内 容	開催時期	出席者
日本緑茶と中国緑茶の愉しみ方	4月12日～4月23日	68人
新茶を楽しむ	5月10日～6月4日	77人
冷茶を楽しむ	6月21日～7月17日	100人
夏休み親子で楽しむお茶講座	7月30日～8月16日	85人
お茶の香りを新発見	8月28日～9月14日	117人
お茶の品種を愉しむ	9月27日～11月1日	132人
玉露・熟成茶	11月27日～12月17日	133人
入賞茶を楽しむ	1月17日～2月8日	153人
お茶とスイーツでティータイム	2月18日～3月15日	174人
合計		1,039人

(5) 富士山静岡空港「静岡茶おもてなしコーナー」運営受託

お茶の魅力を国内外に発信するため、静岡県が設置した富士山静岡空港の「静岡茶おもてなしコーナー」の運営を受託した。

<運営概要>

施設規模	50 m ² 7 席
運営体制	開場時間 毎日 午前9時30分～午後5時30分 内 容 呈茶スタッフが常駐し、空港利用者に県内産のお茶をサービスするとともに、お茶の淹れ方や産地によるお茶の特徴などを説明。

<利用者数>

月	人数	月	人数
4月	5,718 人	10月	4,692 人
5月	6,788 人	11月	4,851 人
6月	5,192 人	12月	5,194 人
7月	4,795 人	1月	5,522 人
8月	6,665 人	2月	4,753 人
9月	5,065 人	3月	5,858 人
		計	65,093 人

178 人/日

2 世界の茶に関する情報の集積及び発信（公益目的事業2）

(1) 静岡県・浙江省 2012 緑茶博覧会文化プログラム企画運営（委託事業）

開催地	開催時期	内 容
浙江省杭州市	平成 24 年 6 月 8 日～10 日	日本茶道、手揉み製法の披露 中国語による静岡茶の淹れ方体験 300 人

(2) 日本茶の輸出促進

ア 輸出に関する情報交換を行うとともに、日本茶の輸出セミナーを開催した。

開催地	開催期間	内 容
掛川市内	平成 24 年 11 月 18 日～20 日	米国バイヤーとのお茶輸出商 談会 9 社
台湾区台北市他	平成 25 年 3 月 26 日～29 日	台湾区日本茶流通実態調査

イ 国際的な食品見本市等に出展し、日本茶のPRを行うとともに、輸出拡大に関心の高い茶業者に商談の場を提供した。

開催地	開催時期	内 容
アメリカ (ラスベガス)	平成 24 年 6 月 1 日～3 日	World Tea Expo (基金対象 事業) 会員企業 2 社と出展、静岡 茶 PR 販売
幕張メッセ	平成 25 年 3 月 5 日～8 日	FOODEX JAPAN 会員企業 4 社と出展、静岡 茶 PR

(3) 世界への情報の発信と集積

ア ホームページやメールマガジンによる情報発信

ホームページ「O-CHA ネット」の運営	イベント情報、ニュースの随時掲載 各コーナーの随時更新(アクセス数 約 93,400 件/月)
メールマガジンによる情報発信	緑茶に関する情報、イベント情報など (1回/月)

イ 世界とのネットワークの形成

海外の茶関係団体、個人を、当協会との茶関連の情報交換を行う特別会員に認定した。7ヶ国・地域の12団体・名。

(4) O-CHAパイオニア顕彰事業

- ・ 審査会：平成24年10月9日
- ・ 表彰式：平成24年11月17日 掛川市生涯学習センター

分野	成果の名称	受賞者
学術研究大賞	緑茶の生活習慣病予防研究に関する取り組み	掛川市緑茶活用予防医学研究協議会
学術研究大賞	緑茶成分の抗ウイルス作用に関する研究	鈴木 隆 (静岡県立大学薬学部生化学分野教授)
文化・芸術大賞	庶民の日常茶「番茶」の民俗学的研究と茶文化の普及	中村羊一郎 (静岡産業大学情報学部特任教授)
O-CHA 国際交流大賞	茶研究を通じて長年にわたる日中学術交流への貢献	陳宗懋 (中国農業科学院) (ちえん つおんまお)
CHAlleng 賞	斬新なキャラクターによる茶の宣伝活動	茶神 888 (はちじゅうはちやー)

(5) 世界緑茶コンテストの開催

ア 世界緑茶コンテストの開催

募集期間	平成24年4月～7月
審査会	平成24年8月21、22日 お茶の郷博物館 (島田市)
出品点数	日本32点、海外24点 計56点
審査結果	最高金賞6点、金賞14点、 パッケージ大賞2点、フロンティア賞2点
表彰式	平成24年10月19日 静岡産業大学情報学部 ウイステリアホール
展示	2011 入賞茶 平成24年6月8-10日 静岡県・浙江省2012緑茶博覧会 2012 入賞茶

	平成 24 年 10 月 19 日	静岡産業大学パッケージ展
	平成 24 年 11 月 17・18 日	全国お茶まつり in 掛川
	平成 25 年 2 月 16・17 日	東京都茶協同組合茶業関連商品 展示会
	平成 25 年 3 月 5-8 日	FOODEX JAPAN

イ 国際名茶品評会への協力

世界茶連合会が隔年で開催する品評会の日本窓口となり、日本の出品茶募集及び審査協力を行った。

中国、韓国、日本から合計 189 点の出品があり、日本からは金賞 17 点、銀賞 6 点が入賞した。各茶種で最も優れた世界名茶大賞は 7 点あり、日本からは 1 点選ばれた。

(6) 世界緑茶会議の開催準備

「世界における消費拡大を仕掛ける緑茶の成長戦略」と題し、主要な茶の生産国・消費国で活躍する茶業者から、消費国、生産国における緑茶を取り巻く特徴のある話題をご紹介いただき、緑茶の新たな需要創造と緑茶を愉しむ生活の普及を目指す。

発言者の出席依頼を進め、予定者は、アメリカ、イギリス、インド、中国、日本となっている。

(7) 茶の機能性・効用の情報集積・発信

茶の機能性・効用に関する情報を消費者にわかりやすい解説資料にまとめ、県のホームページにおいて公開するとともに、ホームページ「O-CHA ネット」にリンクを掲載した。

3 ホームページバナー広告

お茶の総合情報サイトである O-CHA ネットに、お茶関連業者 5 件のバナー広告を掲載した。

貸借対照表

平成25年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	6,485,011	7,715,093	-1,230,082
普通預金	6,485,011	7,715,093	-1,230,082
スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142	5,110,051	6,727,280	-1,617,229
静岡銀行 駅南支店 普通763138	952,720	898,803	53,917
ゆうちょ銀行 00860-3-166641	422,240	89,010	333,230
未収金	1,812,499	2,034,071	-221,572
前払金	71,620	61,620	10,000
流動資産合計	8,369,130	9,810,784	-1,441,654
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	391,035,188	391,540,194	-505,006
投資有価証券(指定)	391,035,188	391,540,194	-505,006
定期預金(基)	1,964,812	1,293,252	671,560
普通預金(基)	0	166,554	-166,554
大和証券口座	0	166,554	-166,554
基本財産合計	393,000,000	393,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,400,000	1,200,000	200,000
退職給付引当資産(一般)	1,400,000	1,200,000	200,000
特定資産合計	1,400,000	1,200,000	200,000
(3) その他固定資産			
固定資産合計	394,400,000	394,200,000	200,000
資産の部合計	402,769,130	404,010,784	-1,241,654
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	5,934,520	4,689,186	1,245,334
前受金	356,400	225,000	131,400
預り金	597,433	449,728	147,705
送料	160	640	-480
厚生年金預り	302,456	273,756	28,700
所得税預り	35,149	0	35,149
住民税預り	58,300	0	58,300
健康保険料預り	201,368	175,332	26,036
賞与引当金	710,000	770,000	-60,000
流動負債合計	7,598,353	6,133,914	1,464,439
2 固定負債			
退職給付引当金	1,400,000	1,200,000	200,000
固定負債合計	1,400,000	1,200,000	200,000
負債の部合計	8,998,353	7,333,914	1,664,439
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
有価証券(財)	193,000,000	193,000,000	0
指定正味財産合計	393,000,000	393,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(393,000,000)	(393,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(1,400,000)	(1,200,000)	(200,000)
正味財産の部合計	393,770,777	396,676,870	-2,906,093
負債及び正味財産合計	402,769,130	404,010,784	-1,241,654

正味財産増減計算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産の運用収入	6,840,470	6,322,513	517,957
特定資産受取利息	233	194	39
受取会費			
会費収益	10,560,000	10,650,000	-90,000
事業収益			
受講料等収益	259,278		259,278
情報誌発行収益	410,020	518,630	-108,610
出展負担金等収益	439,146		439,146
世界緑茶コンテスト出品料	1,110,500		1,110,500
パナ広告収益	1,100,000		1,100,000
その他の事業収益		2,729,448	-2,729,448
世界緑茶コンテスト出品料		797,400	-797,400
出展負担金等収入		31,520	-31,520
茶文化講演、呈茶等		982,138	-982,138
海外パンフレット等収入		18,390	-18,390
パナ広告収入		900,000	-900,000
受取補助金等			
補助金収益	5,715,000	6,725,000	-1,010,000
委託費収益	27,383,580	22,826,255	4,557,325
農業振興基金協会助成金収益	800,000		800,000
雑収益			
受取利息	2,582	2,152	430
雑収益	6,594	44,000	-37,406
経常収益合計	54,627,403	49,818,192	4,809,211
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	5,517,000	5,076,780	440,220
給料手当	9,860,981	9,427,289	433,692
臨時雇賃金	14,777,280	11,439,332	3,337,948
福利厚生費	4,456,438	4,363,737	92,701
会議費	433,479	110,240	323,239
旅費交通費	4,684,310	2,318,373	2,365,937
通信運搬費	756,540	554,208	202,332
消耗什器備品費	110,260	99,960	10,300
消耗品費	1,802,984	1,652,075	150,909
印刷製本費	1,322,397	435,908	886,489
保険料	97,762	68,790	28,972
諸謝金	1,668,105	1,650,956	17,149
租税公課	755,600	636,300	119,300
支払負担金	2,010,072	332,864	1,677,208
委託費	2,997,330	2,942,730	54,600
広告宣伝費	508,095	252,000	256,095
手数料	188,376	111,670	76,706
管理費			
役員報酬	975,000	650,000	325,000
給料手当	1,350,000	1,210,000	140,000
退職給付費用	200,000	200,000	
福利厚生費	484,000	322,984	161,016
会議費	80,830	117,600	-36,770
旅費交通費	1,306,275	1,321,390	-15,115

正味財産増減計算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	39,784	61,740	-21,956
減価償却費		3,675	-3,675
消耗什器備品費		368,550	-368,550
消耗品費	27,890	365,296	-337,406
印刷製本費	23,027	38,850	-15,823
光熱水料費	87,668	87,947	-279
賃借料	30,114	30,114	
諸謝金	133,350	177,300	-43,950
租税公課	5,100	12,150	-7,050
支払負担金	162,500	62,500	100,000
委託費	535,500	535,500	
手数料	74,449	203,472	-129,023
経常費用合計	57,462,496	47,242,280	10,220,216
評価損益等調整前当期経常増減額	-2,835,093	2,575,912	-5,411,005
評価損益等計			
当期経常増減額	-2,835,093	2,575,912	-5,411,005
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計			
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	-2,835,093	2,575,912	-5,411,005
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	
当期一般正味財産増減額	-2,906,093	2,504,912	-5,411,005
一般正味財産期首残高	3,676,870	1,171,958	2,504,912
一般正味財産期末残高	770,777	3,676,870	-2,906,093
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高	393,000,000	393,000,000	
指定正味財産期末残高	393,000,000	393,000,000	
III 正味財産期末残高	393,770,777	396,676,870	-2,906,093

財産目録

平成25年3月31日現在(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
(資産の部)		
流 動 資 産	8,369,130	
現 金 ・ 預 金	6,485,011	
普 通 預 金	6,485,011	スルガ銀行 5,110,051 静岡銀行 952,720 ゆうちょ銀行 422,240
未 収 金	1,812,499	補助金収入等
前 払 金	71,620	
固 定 資 産	394,400,000	
基 本 財 産	393,000,000	
定 期 預 金	1,964,812	スルガ銀行
有 価 証 券	391,035,188	国債 214,008,510 国債 177,026,678
特 定 資 産	1,400,000	
退 職 給 付 引 当 資 産	1,400,000	スルガ銀行
そ の 他 固 定 資 産	0	
資 産 の 部 計	402,769,130	
(負債の部)		
流 動 負 債	7,598,353	
未 払 金	5,934,520	委託費等
前 受 金	356,400	25年度分賛助会費等
預 り 金	597,433	送料 160 厚生年金 302,456 健康保険料 201,368 所得税 35,149 住民税 58,300
賞 与 引 当 金	710,000	
固 定 負 債	1,400,000	
退 職 給 付 引 当 金	1,400,000	
負 債 の 部 計	8,998,353	
正 味 財 産	393,770,777	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産(ソフトウェア)・・・定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員の賞与金の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	166,554		166,554	
定期預金	1,293,252	671,560		1,964,812
有価証券	391,540,194		505,006	391,035,188
小計	393,000,000	671,560	671,560	393,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,200,000	200,000	0	1,400,000
小計	1,200,000	200,000	0	1,400,000
合計	394,200,000	871,560	671,560	394,400,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	1,964,812			
有価証券	391,035,188			
小計	393,000,000	(393,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	1,400,000			
小計	1,400,000			(1,400,000)
合計	394,400,000	(393,000,000)		(1,400,000)

特定資産の利息については一般収入に繰り入れるものとする。

4. 担保にしている資産

なし

5. 満期保有目的の債券の内訳

満期保有目的の債券の内訳は、次のとおりである。

科目	帳簿価格
11 30年国債	214,008,510
111 20年国債	177,026,678
合計	391,035,188

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
新・静岡茶グローバル戦略推進事業費補助金	静岡県	0	5,715,000	5,715,000	0	
受託金						
しずおかO-CHAプラザ静岡茶体験コーナー企画運営業務委託	静岡県	0	7,310,478	7,310,478	0	
富士山静岡空港公的利活用スペース 呈茶コーナー企画運営業務委託	静岡県	0	16,619,652	16,619,652	0	
平成24年度静岡県・浙江省2012緑茶博覧会文化プログラム企画運営業務委託	静岡県	0	1,457,400	1,457,400	0	
茶の機能性・効用の情報集積・発信業務委託	静岡県	0	1,996,050	1,996,050	0	
助成金						
静岡県農業振興基金協会事業	公益社団法人静岡県農業振興基金協会	0	800,000	800,000	0	
合計		0	33,898,580	33,898,580	0	

7. 指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

当該事業年度末までに目的たる支出を行うことが予定されている補助金等を受け入れた場合には、その受入額を受取補助金等として一般正味財産増減の部に記載できることから、当公益法人は一般正味財産へ記載をしている。

平成24年度収支決算

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(収入の部)

(単位:円)

科目	予算	決算額	差異	備考
1 基本財産運用収入	7,345,000	6,840,470	△ 504,530	償却原価法による減額
2 特定資産運用収入	0	233	233	
3 会費収入	11,250,000	10,560,000	△ 690,000	
4 事業収入	3,990,000	3,318,944	△ 671,056	
受講料収入	190,000	259,278	69,278	
情報誌発行収入	400,000	410,020	10,020	
出展者負担金等収入	1,000,000	439,146	△ 560,854	
コンテスト出品料収入	1,500,000	1,110,500	△ 389,500	
パナー広告収入	900,000	1,100,000	200,000	
5 県補助金等収入	33,898,000	33,898,580	580	
補助金収入	5,715,000	5,715,000	0	
委託費収入	27,383,000	27,383,580	580	O-CHAプラザオ及び空港星茶コーナー運営受託等
農業振興基金協会指定事業助成収入	800,000	800,000	0	
6 雑収入	0	9,176	9,176	
受取利息	0	2,582	2,582	
雑収入	0	6,594	6,594	
当期収入合計	56,483,000	54,627,403	△ 1,855,597	
前期繰越収支差額	3,677,000	3,676,870	△ 130	
収入合計 (A)	60,160,000	58,304,273	△ 1,855,727	

(支出の部)

(単位:円)

科目	予算	決算額	差異	備考
1 事業費	51,359,000	51,947,009	588,009	
(1)茶文化の提案及び普及(公益1)	32,539,000	32,288,140	△ 250,860	
茶文化セミナー、講演会等の開催	3,935,000	3,344,084	△ 590,916	
緑茶に関する情報誌の発行	4,674,000	5,013,926	339,926	
静岡茶体験コーナーの運営	7,310,000	7,310,478	478	
富士山静岡空港呈茶コーナーの運営	16,620,000	16,619,652	△ 348	
(2)世界の茶に関する情報の集積及び発信(公益2)	18,820,000	19,645,869	825,869	
静岡県・浙江省2012緑茶博覧会文化プログラムの企画・運営	1,457,000	1,457,400	400	
日本茶輸出の促進	5,274,000	6,348,134	1,074,134	
世界への情報の発信と集積	3,402,000	3,269,275	△ 132,725	
茶の機能性・効用の情報集積受託	1,996,000	1,996,050	50	
世界緑茶コンテストの開催	3,841,000	3,741,377	△ 99,623	
〇-CHAパイオニア顕彰	1,995,000	1,611,498	△ 383,502	
世界緑茶会議開催準備等	855,000	1,222,135	367,135	
(3)ホームページバナー広告	13,000	13,000	0	世界への情報の発信と集積より割振り
2 管理費	4,464,000	5,386,487	922,487	
(1)役員報酬	975,000	975,000	0	
(2)給与手当	1,350,000	1,350,000	0	
(3)福利厚生費	484,000	484,000	0	
(4)会議費	30,000	80,830	50,830	
(5)旅費交通費	500,000	1,306,275	806,275	
(6)通信運搬費	100,000	39,784	△ 60,216	
(7)消耗品費	10,000	27,890	17,890	
(8)減価償却費	0	0	0	
(9)印刷製本費	10,000	23,027	13,027	
(10)光熱費	80,000	87,668	7,668	
(11)貸借料	270,000	30,114	△ 239,886	
(12)支払負担金	65,000	162,500	97,500	
(13)諸謝金	20,000	133,350	113,350	
(14)租税公課	0	76,100	76,100	法人税、住民税含む
(15)委託費	540,000	535,500	△ 4,500	会計支援業務委託等
(16)手数料	20,000	74,449	54,449	振込手数料等
(17)雑支出	10,000	0	△ 10,000	
3 固定資産取得支出	0	0	0	
4 退職給付引当金預金支出	200,000	200,000	0	
5 賞与引当金				各事業へ案分(710,000円)
6 予備費	2,000,000	0	△ 2,000,000	基本財産償却分等含む
当期支出合計 (B)	58,036,000	57,533,496		
次期繰越収支差額 (A)-(B)	2,124,000	770,777		

監 査 意 見 書

公益財団法人世界緑茶協会定款第 28 条の規定により、
平成 24 年度の事業執行状況及び決算諸表を監査いたし
ました。

その結果、内容及び処理とも適正なものと認めます。

平成 25 年 6 月 7 日

公益財団法人世界緑茶協会

監事 吉林章仁 

監事 大場知明 